

引き揚げが舞台

8月10日・11日、総合文化会館で日本を代表する声優やアーティストによる朗読劇「READING WORLD ユネスコ世界記憶遺産 舞鶴への生還「約束の果て」」が行われました。会場には、市内外から約6,000人と多くの来場者がありました。会場にまた、10日は終演後に出演者を引揚記念館に招き、高校生、大学生の学生語り部の案内のもと、館内を見学されました。

《観光振興課、引揚記念館》

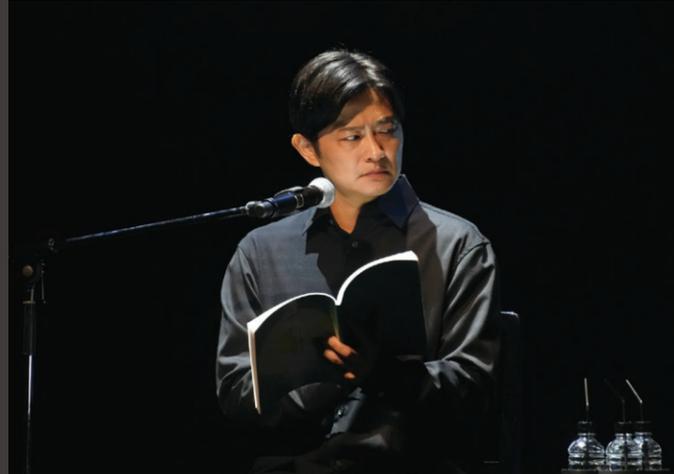
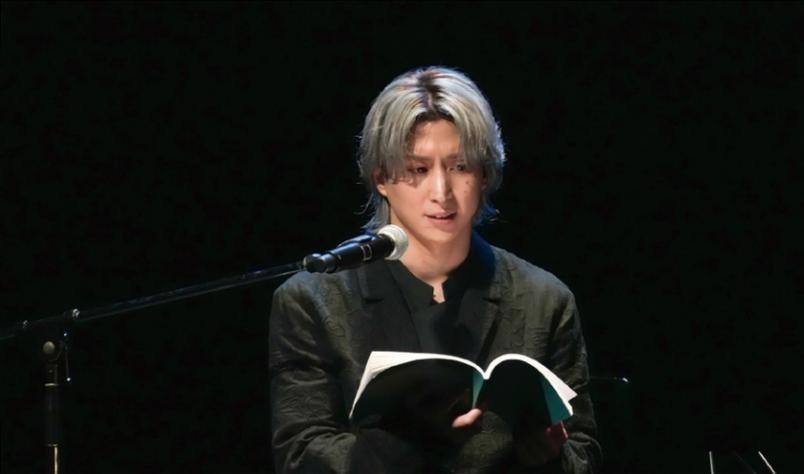


主演を務められた緑川さんからのコメント

引き揚げがテーマという事で、身が引き締まる想いでした。これは語り継いでいかなければならない事ですからね。引揚記念館の方にも足を運ばせていただきましたが、朗読劇を踏まえると、とても興味深く拝見する事ができました。そういった意味で、今回の朗読劇は本当に有意義なものだったんだと思います。少しでも多くの方に触れて頂きたいので、機会があれば是非再演したいですね。



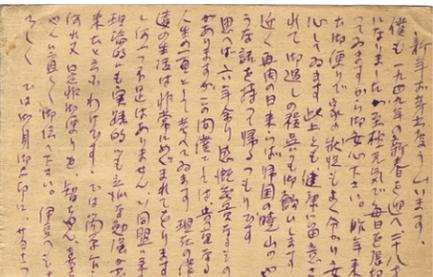
青二プロダクション所属 声優 緑川 光 さん



朗読劇の世界観とコラボ

現在開催している引揚記念館の企画展では、朗読劇の舞台となったシベリアの抑留地から、日本で帰りを待つ家族のもとへ宛てられた俘虜用郵便葉書の実物資料などを展示しています。当時に思いをこめて、ご覧ください。

【開催期間】
10月20日(日)まで(水曜日は休館)
【問い合わせ先】
同館 (☎ 68・0836)



▲劇中でも登場した俘虜用郵便葉書

